

専門試験－上級－行政事務(情報)

〔 No. 1 〕 AはBとの間で、Bがある試験に合格したらA所有の別荘をBに贈与する旨の贈与契約を締結した。この場合に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. Bには年齢制限により受験資格がないことが判明した場合、贈与契約は無条件となり、Bは別荘の所有権を取得する。
2. Bが試験に合格した場合、Bは贈与契約の締結時に遡って別荘の所有権を取得する。
3. Bが試験を受ける前に、Aが過失により別荘の一部を壊してしまった。その後、Bが試験に合格した場合、BはAに対し損害賠償を請求することができる。
4. Bが試験を受ける前に、AはCとの間で別荘の売買契約を締結した。Bはまだ試験に合格していないので、Cが当然に別荘の所有権を取得する。
5. Aは別荘を贈与するのが惜しくなり、試験当日にBの受験を妨害して不合格とさせた場合、Bは試験に合格していないので、別荘の所有権を取得する余地はない。

〔 No. 2 〕 予算及び決算に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 憲法は、予算の作成・提出権を内閣に与えているものの、財政の基本原則として、財政民主主義を明記しているため、国会が予算を作成・提出することも認められる。
2. 憲法は、予算に関する議決権を国会に与えているため、予算の作成・提出権が内閣に属していても、国会が予算を修正し、減額又は増額することは認められる。
3. 憲法は、予算は会計年度ごとに作成されるものとしているため、長期的な事業の遂行のためであっても、年度をまたがる継続費を認めることはできない。
4. 憲法は、予見し難い予算の不足を補うため、あらかじめ国会の議決に基づいて予備費を計上することを認めているため、予備費の支出について事後に国会の承諾を得る必要はない。
5. 憲法は、決算が会計検査院による検査を経て、内閣により国会に提出されるものとしているため、決算の内容について国会が内閣の責任を追及することはできない。

[ No. 3 ] サービス時間が平均 2 分, 到着間隔が平均 8 分であるときの平均待ち時間として妥当なのはどれか。

1. 15 秒
2. 20 秒
3. 30 秒
4. 40 秒
5. 60 秒